



「第33回 国民文化祭・おおいた2018 第18回 全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が10月6日に、開幕しました。大会テーマは、「おおいた大茶会」に決定し、老若男女、障がいのある方もない方も、だれもが参加し楽しむことができる大会を目指しています。また、「おおいた大茶会」のロゴマークは、野点傘の下に、人々や文化が集まり、新しい出会いと発見を通じて人と文化が成長することを表現しています。

今月号では、皇太子同妃両殿下の津久見市へのご訪問の様子と10月20日から津久見市で開催されている国民文化祭イベント「地球の歴史と繋がる宇宙ロマン〜津久見」の様子をお届けします。

皇太子同妃両殿下が津久見市をご訪問



津久見市の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭行事に先立ち、10月6日に皇太子同妃両殿下が来県し、翌日の7日、津久見市民会館を訪れ、津久見市が日本有数の生産量を誇る石灰石（漆喰）を活用したフレスコ画展および「津久見桤の実少年少女合唱団」の合唱の練習風景をご覧いただきました。両殿下そろっての来県は、20年ぶりで、津久見市を訪問されるのは、初めてのことです。

川野市長らが出迎えたのち、市長が昨年の台風第18号で冠水した市街地の様子を写真やパネルを使って、説明しました。その後、フレスコ画展をご覧いただき、続いて、「津久見桤の実少年少女合唱団」による「海」や皇后陛下が高校時代に作詞された曲「ねむの木の子守歌」などを披露しました。

両殿下は、合唱した子どもたちに、普段の練習についてのお話や災害に対するお見舞いの言葉を、優しく語りかけてくれました。子どもたちにも、満面の笑みが見られ、市民のみなさんの温かい見送りにお優しい笑顔でおこたえになり、会場を後にしました。



合唱の祭典 in 津久見

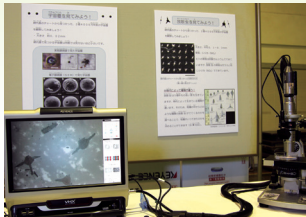


津久見の伝統芸能・津久見扇子踊りがオープニングを飾り、その後、全国各地から集まった合唱団による発表がありました。

網代島での展示と現地説明会



地質学を専門とする熊本大学の尾上哲治准教授による現地説明会を開催しました。



★来月号も、津久見市での国民文化祭イベントの様子をお届けします!!